

<MBTコンソーシアム通信部会報告>

10/26、奈良県防災総合訓練（於：奈良県広陵町）に展示参加

会員や連携機関の最新技術を組み合わせ

『災害時の情報・医療の回復～通信とモビリティの活用～』をデモ

- ・2025年度の奈良県防災総合訓練は近畿府県合同の防災訓練として、10月26日（日）広陵町にある奈良県第二浄化センター他で団体/企業/行政等の約120機関が参加して盛大に開催されました。
- ・MBTコンソーシアム通信部会では、例年、大災害被災地最前線の救済の提案を目的に、情報回復や避難所等の混乱した現場の医療の回復を、MBTコンソーシアム会員や連携機関が保有する最新技術を組み合わせで提案し、防災関係者にデモを行い意見交換を行ってきました。
- ・本年行った提案詳細を裏面に掲載しますのでご確認下さい。
- ・写真①は本年のMBTコンソーシアム展示ブース全景です。
- ・本年も、奈良県山下知事はじめ、多くの府県の防災関係者がブースに立ちよっていただき、MBTの取組をPRすることができました（写真②）
- ・今回参加したMBTコンソーシアム関係機関と展示紹介内容は以下のようです。



- 1) 奈良先端大（NAIST）：インターネット通信を回復する衛星通信車「新曼陀羅号」と、スカパーやスターリンクの複数の衛星通信回線の「メッシュネットワーク延伸技術」（写真③）
- 2) 株M-aid：車内に搭載した各種生体計測機器で患者の生体情報を通信し、更には搭載したドローンで医薬品搬送も可能とする「オンライン診療車「Medaas」」（写真③）
- 3) 株タカゾノ：処方箋に基づく薬を現場近くで処方する「移動薬局コンテナ」の動画デモ（写真④）
- 4) 株近鉄ケーブルネットワーク：インターネット経由でTV電話、AI動画等視聴を可能にする「IP STICK CATVシステム」（写真⑤）
- 5) 株三技協：遠隔から、河川等の水位をチェックする「水位リアルタイム監視パッケージ」（写真⑥）
- 6) 損害保険ジャパン（株）：災害時の車事故防止策や避難所での不便を克服する各種生活アイデアを提案の「防災ジャパンドプロジェクト」（写真⑦）



発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内
TEL：0744-29-8853（直通）、FAX：050-3164-5598、

（公立大学法人）奈良県立医科大学
担当 塩山

Email: mbt@mbt.or.jp

災害時の情報・医療の回復～通信とモビリティの活用

災害現場での災害情報・医療の回復は、住民にとってはとても重要なことです。今年度は、通信系手段はメッシュネットワークにて延伸も可能になり、モビリティと折畳式コンテナを活用した現場での医療充実の提案です。

モビリティの活用提案

